

## 問6 地域における多職種連携構築についての点数の理由

職種	点数	理由（原文のまま）
1 医師	5点	具体的な例が少ない為
2 医師	4点	“活動状況”により、どの程度連携可能かどうか分からない
3 医師	3点	後方連携においても、いろいろな条件があって、なかなかスムーズに受け取れない。紹介であっても、医師、看護師からの医療情報の提供もなく、非医療職である夜勤者からのみの依頼や、入所時の家族の治療希望が十分聞き取れておらず救急搬送され、家族の方が当院に来院されて高度治療を希望されていないことが分かり、翌日に施設に戻ろうとしてもとってくれないことがあった。
4 薬剤師	7点	普段から施設や在宅を回っていることもあり、多職種間での連絡のやりとりは行っている。ただ、携わりのかたよりはあると思われる。
5 薬剤師	6点	多職種間の連携はだいぶ進んでいると思いますが、もっと連携を深めたいと思うので。
6 薬剤師	5点	医師、ケアマネージャーの方々とは最低限の連携がとれていると思うが、ヘルパーの方や他の職種の方々とはほぼ連携がとれていない状況の為。
7 薬剤師	3点	これまで、かかわっている利用者様が利用していた施設とは連携していますが、それ以外の施設とは積極的に連携ができていないと言えない為、今後少しずつでも広げていきたいです。
8 薬剤師	1点	訪問看護やケアマネージャーによる関わりはあるが在宅など調剤薬局との関わりがまだまだ少ない
9 看護師	7点	まだまだコロナの影響から見える化、顔を見ての繋がりが少なかつたため。地域との連携がまだまだと感じています。
10 看護師	6点	ネット社会のため、ITを使ったタイムリーな情報交換が必要と考えるが、事業所によって使用するサイト（メディカルケアステーション、バイタルリンクなど）が違うので、統一できたらと思う。また、スマホを使用してタイムリーな情報交換ができれば良いと思う。
11 看護師	5点	病院とはできていると思うが私個人としては把握できていなかったり、連携はまだまだできていないと思うし、理解できていないと思う。
12 看護師	5点	まだ、多職種間でのつながりが弱いところがあると思った。
13 看護師	4点	自分が知らないだけかもしれないが、活用方法などがわからない
14 看護師	3点	今まであまり、関わっていなかった

## 問6 地域における多職種連携構築についての点数の理由

職種	点数	理由（原文のまま）
15 看護師	3点	コロナの分類が第5類となり、担当者会議等で顔の見える関係性が復活してきたが、問題を予測、想定し話し合う時間があまりないと思う。（プランや保険の更新に伴う集まりが多いため）
16 看護師	2点	同一法人内でも十分な連携ができていないと感じる
17 看護師	0点	BCPに対する理解が低い
18 保健師	8点	医療介護連携推進事業を通じて、連携がしやすくなるツールや研修会の開催など環境整備がすすんでいるため
19 保健師	7点	日々の業務では、連携できていると感じるため
20 保健師	7点	事業の中で、関わってきた在宅医療にかかわる人々が、いろいろな方法で「つながろう」と努力している様子を知っているから（見聞きしている）
21 保健師	7点	個別ケースワークでは多職種連携がしやすいと感じているが、災害時等における多職種が連携した体制づくりはまだできていないと感じるから。
22 保健師	5点	できている職種や関係機関と関わり方が難しい職種や関係機関があるため。
23 保健師	4点	普段の業務間での連携はとれているが、災害がおこった時の連携などはどことの連携が必要かなど、まだ十分ではない気がする
24 保健師	4点	できている人はできているが、できていない人はできていない
25 介護支援専門員	8点	業務上、連携が必要であるため。
26 介護支援専門員	8点	地域密着なので地域住民との関係性が深い。医療連携も充実している。
27 介護支援専門員	8点	サービス担当者会議を通して行っています。
28 介護支援専門員	7点	病院の地域連携室とは連携がよくとれるようになってきたから。
29 介護支援専門員	7点	専門職との多職種連携ということも大切だが、地域住民との連携が大切な点も、重く見ており、高松市の避難行動要支援者名簿作成に向けた取り組みなども、力を入れていきたい。ケアマネと住民との交流会の関係など（NW会議で）
30 介護支援専門員	6点	自分が住んでいる地域と考えるとこの位かなと思いました。
31 介護支援専門員	6点	医療との連携はまだ少ないと思う。サービス利用の意見を求めることになっているが、それさえも消極的で医療側との距離は縮められていない
32 介護支援専門員	5点	連携で研修はしているがその他は何もしていない

## 問6 地域における多職種連携構築についての点数の理由

職種	点数	理由（原文のまま）
33 介護支援専門員	5点	自身の担当している利用者に関わっている事業所との連携は行っているが、その他の事業所とはあまり連携を図ることができていない。
34 介護支援専門員	5点	連携する機会を作ることが難しい。日常業務で余裕がない
35 介護支援専門員	5点	ケアマネとしてたくさんの職種の方との連携を図りますが引っこしをしてきて高松市にきて2年がたとうとしている。まだまだ知らない事が多い為。
36 介護支援専門員	4点	連携が図れる所もあれば図れない所もある
37 介護支援専門員	4点	自社内のサービスで済むことが多いため
38 介護支援専門員	3点	個人情報観点、支援事業所のレベル
39 介護支援専門員	3点	コロナウイルスの蔓延について、地域事業所との交流の機会がなくなっている。
40 介護福祉士	5点	まだ、十分な連携はとれてないと思うから
41 介護福祉士	2点	事業所内での他職種連携はあるが地域となると薄い
42 理学療法士	3点	地域において、他の職種の方と顔を合わす機会が少ないからです。
43 作業療法士	3点	感染症が拡大しており、顔が見える関係づくりに消極的な様子を受ける
44 言語聴覚士	2点	ごく一部なのかな、と。共通言語になっていないことも多くあるように思う。
45 医療ソーシャルワーカー	9点	病院開催の連携の会を開催し、地域の施設などとの顔の見える関係作りが出来ている。
46 医療ソーシャルワーカー	7点	表面的にはできているが、それ以上ではない。
47 生活相談員	4点	同じ事業所での連携はできているが、他施設との連携は必要性を感じているが、実際できていない
48 事務	8点	困難事例や、もしもの時の相談先として、協力や連携をしてれるところが徐々に増えてきているのではないかと感じている
49 事務	8点	地域ケア小会議では、多職種が集合して各々の立場で、利用者にとって何が必要なのかを検討している。今回のテーマである災害時には、さらに多職種間での連携が必要となると思う。
50 事務	6点	関わりのある方との情報交換
51 その他	7点	連携しようと努力していると思うから
52 その他	4点	まだ、多職種間での連携の必要性を認識できていない様に思うため
53 その他	3点	自分もそうですが、他職員も知らないことが多いと思う。